

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公開番号】特開2017-182892(P2017-182892A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-63257(P2016-63257)

【国際特許分類】

H 05 B	33/04	(2006.01)
H 01 L	51/50	(2006.01)
H 05 B	33/28	(2006.01)
H 05 B	33/26	(2006.01)
H 05 B	33/22	(2006.01)

【F I】

H 05 B	33/04	
H 05 B	33/14	A
H 05 B	33/28	
H 05 B	33/22	A
H 05 B	33/26	Z
H 05 B	33/22	Z

【手続補正書】

【提出日】平成31年3月1日(2019.3.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1電極と、

前記第1電極上に形成された発光機能層と、

前記発光機能層上に形成された電子注入層と、

前記電子注入層上に形成された半透過反射性を有する第2電極と、を備え、

前記第2電極は、前記電子注入層の材料を還元する還元性材料と、Agと、を含み、

前記第2電極に含まれる前記Agは、前記還元性材料よりも多く、

前記第2電極上には、吸着層が形成されていることを特徴とする発光素子。

【請求項2】

前記第2電極に含まれるAgは、原子数比において75%以上であることを特徴とする

請求項1に記載の発光素子。

【請求項3】

前記吸着層の材料は、前記還元性材料と同一の材料であることを特徴とする請求項1または2に記載の発光素子。

【請求項4】

前記吸着層の材料は、MgまたはAlであることを特徴とする請求項1から3のいずれか一項に記載の発光素子。

【請求項5】

前記吸着層の光吸收率は、30%以下であることを特徴とする請求項1から4のいずれか一項に記載の発光素子。

【請求項 6】

前記吸着層の膜厚は、 1 nm 以上であることを特徴とする請求項1から5のいずれか一項に記載の発光素子。

【請求項 7】

前記吸着層の膜厚は、前記第2電極の膜厚よりも薄いことを特徴とする請求項6に記載の発光素子。

【請求項 8】

前記第2電極に含まれる前記A gは、原子数比において98%以下であることを特徴とする請求項1から7のいずれか一項に記載の発光素子。

【請求項 9】

請求項1から8のいずれか一項に記載の発光素子が画素毎に設けられ、

前記発光素子を覆うように形成された封止層を備えたことを特徴とする発光装置。

【請求項 10】

前記封止層は、

第1封止層と、

前記第1封止層上に積層された有機材料からなる平坦化層と、

前記平坦化層上に積層された第2封止層と、を含むことを特徴とする請求項9に記載の発光装置。

【請求項 11】

前記画素の配置ピッチは、 $10\text{ }\mu\text{m}$ 以下であることを特徴とする請求項9または10に記載の発光装置。

【請求項 12】

請求項9から11のいずれか一項に記載の発光装置を備えたことを特徴とする電子機器。
。